

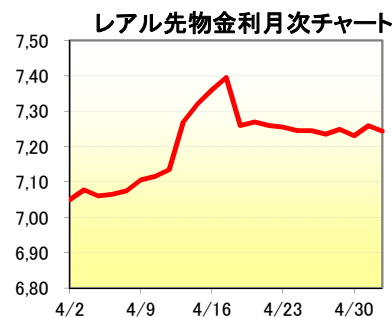
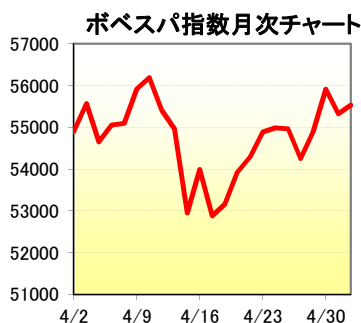
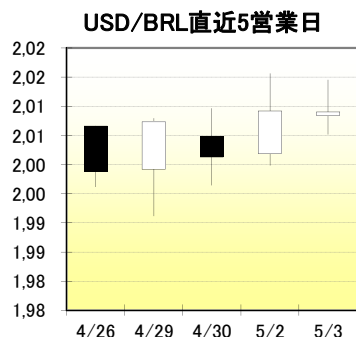
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			4月26日	4月29日	4月30日	5月2日	5月3日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	1,9990	2,0040	2,0000	2,0110	2,0100	-0,0010
	USD/YEN	Spot	98,05	97,88	97,47	97,95	98,99	+1,0400
	EUR/USD	Spot	1,3025	1,3095	1,3165	1,3062	1,3110	+0,0048
	BRL/YEN	Spot	49,05	48,77	48,71	48,76	49,27	+0,5100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,37	1,30	1,27	1,24	1,26	+0,0234
		1Year(p.a.)	1,48	1,42	1,38	1,36	1,41	+0,0493
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,81	7,86	7,80	7,77	7,81	+0,0413
		1Year(p.a.)	8,00	8,01	8,02	7,97	8,03	+0,0572
Stock	Bovespa		54.252	54.887	55.910	55.322	55.488	+166,15
Bond	CDS Brazil 5y		114,50	112,13	109,70	110,27	105,88	-4,3880
	Global 40		122,425	122,500	122,750	122,125	122,225	+0,1000

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FIPE消費者物価指数(月次,4月)	0.24%	0.28%	-0.17%	
鉱工業生産(年調剤/前月比,3月)	1.3%	0.7%	-2.4%	
鉱工業生産(年調剤/前年比,3月)	-2.4%	-3.3%	-3.2%	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$1.9940で寄り付いた。
- 週初は欧米における物価上昇圧力の緩和を受け、ECBが今週にも政策金利を過去最低に引き下げる可能性が高まったことでユーロ圏の株式市場では買いが優勢となった。また、米FOMCにおいて資産購入プログラムが維持されるとの見方が広がったことも好感され、レアルは寄付き後買いが優勢となり、直ぐさま週間高値となるUS\$1=R\$1.9910を付けた。しかしその後はリスク資産の買いに連れて他のエマージング通貨が買われる中、レアルはその流れに逆行し、じりじりと2.00台を下抜け反落した。
- 翌30日には木曜のECB政策決定会合において利下げ観測が高まったことに加え、追加景気刺激策が発表されるとの期待も強まり、ユーロが大きく上昇、レアルも2.00台を上抜け反発した。
- 祝日を挟んだ5月2日にはECB政策決定会合において予想通り政策金利が過去最低に引き下げられ、ユーロが一時的に上昇するも、ECBドラギ総裁が政策委員会後の会見で中銀預金にマイナス金利を課するという前例のない措置を取る可能性を示唆するとユーロは一気に反落、レアルもつられて売りに転じ、週間安値となるUS\$1=R\$2.0150まで売り込まれた。
- 週末にかけてレアルは狭い値幅で推移する中、大口の資金流出が見られ売りが優勢となったが、結局US\$1=R\$2.0100で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
5/6	PMIサービス業	Apr	--	50.3
5/6	貿易収支(FOB)-週次	May 5	--	--
5/7	自動車生産(Anfavea)	Apr	--	319121
5/7	自動車販売(Anfavea)	Apr	--	283912
5/7	自動車輸出(Anfavea)	Apr	--	43529
5/8	FGVインフレ率-IGP-DI	Apr	0.05%	0.31%
5/8	FGV CPI IPC-S	May 7	0.50%	0.52%
5/8	IBGEインフレ率-IPCA(前月比)	Apr	0.49%	0.47%
5/8	インフレ率(IPCA)-IBGE(前年比)	Apr	6.42%	6.59%
5/9	FIPE消費者物価指数(週次)	May 7	0.33%	0.17%
5/9	CNI生産設備稼働率	Mar	--	82.6%
5/10	IGP-M Inflation 1st Preview	May	0.15%	0.42%

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：1.98-2.05

今週は外部要因による影響としてユーロ圏の経済成長低下を背景とした追加刺激策への期待が注目を集めた。国内では予想を下回る鉱工業生産の結果からも分かるようにブラジルの景気回復の足取りは引き続き弱く、積極的なレアル買いを行う投資家は少ないと思われる。来週にかけては国内ではインフレ指数が注目されるが、国内 IPO 等による資金流入の予定も特段なく、方向感が定まりにくい展開が予想される。更に、海外ではユーロ圏 PMI 等の結果を受けて追加刺激策に関する詳細が発表される可能性もあり、レアル相場を含むリスク資産に影響を与える可能性があり、急激な相場の変動には引き続き注意する必要がある。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department